

DAS Solar の N 型パネル出荷量が世界 2 位に浮上

2023 年 6 月、DAS Solar は新記録を達成し、月間 2GW の出荷を達成しました。bjx.com によると、N 型パネルの出荷は世界で 2 位にランクされています。DAS Solar は過去数ヶ月間にわたり、調達プロジェクトの入札で一貫して成功しています。DAS Solar の産業競争力への影響は強力であり、特に入札の数と規模において顕著です。

2023 年上半期、太陽電池モジュールの調達における高出力モジュール、N 型モジュール、大型モジュールの入札規模は持続的に拡大しています。N 型技術のトップブランドである DAS Solar は、製品マトリックスを活用して入札市場の需要に成功裏に対応しています。bjx.com の統計によれば、DAS Solar は 2023 年上半期に Three Gorges Group、Chian Huaneng Group、State Power Investment Corporation、Energy China から 2GW 以上の N 型モジュール調達プロジェクトを確保しました。これにより、N 型モジュールの出荷実績によって DAS Solar は世界第 2 位の地位を確立しました。

さらに、bjx.com の半期報告書と主要企業の公開情報に基づいて、DAS Solar は 2022 年に太陽電池モジュールの出荷トップ 10 に初登場し、2023 年上半期にもその地位を維持しました。この成果により、DAS Solar の N 型市場におけるリーディングブランドとしての地位が確固たるものとなり、顧客から DAS Solar の製品品質に対する確信が示されています。

2023 年、DAS Solar は新たな目標を設定しました。TOPCon 4.0 のセル変換効率が更に 26% を超えるようにし、TOPCon セルモジュールの生産能力を年末までに 30GW に達成することです。将来の技術ロードマップでは、TOPCon4.0、TBC、SCPC、TSiX、そして最終的に SFOS との協力を通じて、セル効率を 35% 以上に向上させることを目指しています。このロードマップは、N 型のセル効率をさらに向上させるだけでなく、「ポストシリコン時代」のセル技術に向けた先進的で明確で完全に実行可能なレイアウトを探索するものです。現在、DAS Solar は i-SE、ut-PolySi、および mt-Pass を使用した TOPCon 3.0 plus の量産に取り組んでおり、最高量産効率は 25.9%、実験室効率は 26.24% を超え、開放電圧は 730mV です。TOPCon 4.0 に向けて、メーカーは 26% から 27% の効率を目指します。

DAS Solar は、N 型技術の継続的な探求と厳格な研究に専念し、セルとモジュールの効率において常に産業基準を上回っています。この取り組みにより、DAS Solar はグローバルな顧客に対して長期的な最適な価値を提供しています。また、DAS Solar はグローバルな視点を持ち、製品とサービスを世界市場に拡大することができます。厳格な品質管理と先進的なデジタル情報駆動型の運用により、DAS Solar は運用とサービスの効率を向上させ、アフターサービスのサポートと出荷能力を大幅に向上させています。